

令和6年度事業報告書

令和7年6月14日

公益社団法人
愛知県医師会

事業に関する報告書

令和6年度の本会会務の運営並びにその事業の実施状況は、その都度「愛知医報」等でご報告をいたしました。

その大要は次の通りであります。

○ 庶務に関する事項

1. 会員の異動

前年度末会員数(令和6年3月31日現在)	10,819 名	
入 会	1,084 名	(県内異動も含む)
退 会	742 名	(")
死 亡	81 名	
会員数(令和7年3月31日現在)	11,080 名	<別表1 参照>

2. 文書の収受、発送

収 受	9,807 件
発 送	378,691 件

3. 会員の栄誉

(1) 令和6年春の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り栄誉をたたえました。

瑞宝小綬章	市 川 朝 洋 殿
瑞宝双光章	神 谷 鋼 彦 殿
旭日双光章	森 雅 典 殿

令和6年秋の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り栄誉をたたえました。

瑞宝中綬章	浦 田 士 郎 殿
瑞宝双光章	宮 田 昭 男 殿

(2) 令和6年愛知県医師会表彰規程による被表彰会員に記念品を贈り表彰いたしました。

瑞 穂 区	西 村 賢 司 殿
瀬 戸 旭	青 山 貴 彦 殿
半 田 市	竹 内 一 浩 殿
東 名 古 屋	松 浦 誠 司 殿

稲	沢	市	笠	原	純	一	殿
知	多	郡	岡	本		晃	殿
岡	崎	市	小	出	信	澄	殿
蒲	郡	市	近	藤	耕	次	殿
西	尾	市	山	本	宏	明	殿

(3) 令和6年難病の学術的研究の功績に対し記念品を贈り表彰いたしました。

藤田医科大学

呼吸器内科学 教授

橋 本 直 純 殿

愛知医科大学

脊椎脊髄センター 教授

原 政 人 殿

名古屋大学 大学院医学系研究科

総合医学専攻整形外科学 准教授

三 島 健 一 殿

藤田医科大学

小児科学 教授

水 野 晴 夫 殿

4. 物故会員

本年度(令和6年4月～令和7年3月届出分)の物故会員は81名でありました。〈別表2 参照〉
謹んでご冥福をお祈りいたします。

○ 事業に関する事項

1. 会 議

(1) 代議員会 3 回

- ◆ 愛知県医師会第196回(臨時)代議員会を令和6年5月18日(土)中日ビル6階ホールにおいて開催し、次の選挙、議事を行いました。

選 挙

- (1) 議長、副議長
- (2) 理事(会長候補者、副会長候補者、理事候補者)
- (3) 監事
- (4) 裁定委員
- (5) 日本医師会代議員、同予備代議員

議 事

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 第1号議案 | 次期役員(会長、副会長、理事、監事)及び裁定委員の就任日に関する件 |
| 第2号議案 | 日本医師会代議員、同予備代議員選出及び就任日に関する件 |

- ◆ 愛知県医師会第197回(定例)代議員会を令和6年6月8日(土)中日ビル6階ホールにおいて開催し、次の議事を行いました。

報 告

- (1) 令和5年度事業報告
- (2) 令和5年度愛知県医師会館建替計画の進捗状況報告

議 事

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 第1号議案 | 令和5年度決算に関し承認を求めるの件 |
| 第2号議案 | 愛知県医師会役員(会長、副会長、理事、監事)及び裁定委員選任の件 |
| 第3号議案 | 愛知県医師会役員(会長、副会長)選定の件 |

協 議

- ◆ 愛知県医師会第198回(臨時)代議員会を令和7年3月15日(土)中日ビル6階ホールにおいて開催し、次の補欠選挙、報告、議事、協議を行いました。

補欠選挙

日本医師会代議員

日本医師会予備代議員

報 告

- (1) 令和7年度事業計画報告
- (2) 令和7年度予算報告
- (3) 令和6年度愛知県医師会館建替計画の進捗状況報告

議 事

- | | |
|-------|--------------------|
| 第1号議案 | 令和7年度会費の賦課徴収に関する件 |
| 第2号議案 | 令和7年度会費減免申請に関する件 |
| 第3号議案 | 令和7年度入会金の賦課徴収に関する件 |

(2) 理事会 38 回

- ◆ 原則毎月第1木曜日を除く第2～第5木曜日に開催。

内容については、その都度、愛知医報及び本会ホームページ(情報公開)に掲載いたしました。

(3) 各種委員会・部会・協議会・その他

・ 医学教育の向上

「現代医学」誌編集委員会(Web会議 2回)	2 回
「現代医学」誌座談会	2 回
指導医のための教育ワークショップ	1 回
治験審査会	12 回
倫理委員会(書面開催 1回)	1 回

・ 医師の生涯教育

生涯教育委員会(Web会議 2回)	2 回
-------------------	-----

・ 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究
(調査室)

調査室委員会(Web会議 19回)	19 回
調査室委員会勉強会	1 回
保険医協会との懇談会	5 回

(愛知県医師会地域医療政策研究機構)

愛知県医師会地域医療政策研究委員会	7 回
-------------------	-----

・ 公衆衛生の指導啓発

健康教育委員会(Web会議 4回)	4 回
環境衛生委員会(Web会議 4回)	4 回
HPVワクチン接種の推進に関する検討会	6 回
学校関係者向け子宮頸がん予防とHPVワクチンに関する研修会	2 回
愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウム	1 回
感染症及び結核講演会	1 回
感染症(HIV医療講習会)・予防接種研修会	1 回
愛知県広域予防接種事業運営委員会(Web会議 4回 書面開催 1回)	5 回

・ 地域医療の推進発展

四大学連絡協議会	1 回
愛知県地域医療構想推進委員会	2 回
地域医療構想の進め方に関する研修会	2 回
難治性疾患委員会(Web会議 1回)	1 回
難病講習会	1 回
難病講演会	1 回

警察部会幹事会	1 回
麻薬等に関する懇談会	1 回
勤務医部会幹事会(Web会議 6回)	6 回
愛知県糖尿病対策推進会議(Web会議 1回)	1 回
愛知県糖尿病対策推進会議 学術講演会	1 回
小児在宅医療推進企画委員会(Web会議 3回)	3 回
小児在宅死亡例検討ワーキンググループ(Web会議 2回)	2 回
あいち小児在宅医療実技講習会	1 回
尾張西部小児在宅医療講習会	1 回
知多半島小児在宅医療講習会	1 回
せん妄・認知症対策研修会	2 回
摂食・嚥下機能支援に関する研修会	1 回
在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議(Web会議 2回)	2 回
・ 救急医療・災害医療対策	
救急委員会(Web会議 8回)	8 回
愛知県医師会無線システム災害想定訓練	9 回
救急医療・災害医療シンポジウム	1 回
愛知県救急医療推進大会	1 回
災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	1 回
愛知県医師会ICLS研修会	1 回
愛知県災害医療コーディネート研修	2 回
愛知BHELP標準コース	1 回
愛知県医師会PTLS講習会	1 回
小児救急に関する研修会	2 回
こどもの命を守るために 事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー	1 回
小学生のための救急蘇生法講習	14 回
小児救急連携体制協議会(Web会議 3回)	3 回
令和6年能登半島地震におけるJMAT活動の意見交換会(Web会議 1回)	1 回
先天性心疾患の診療体制を検討する会	1 回
愛知県医師会JMAT研修小委員会(Web会議 1回)	1 回
・ 地域保健の向上	
産業保健部会幹事会(Web会議 5回)	5 回

学校保健部会幹事会(Web会議 4回)	4 回
学校保健部会学校健診委員会(Web会議 3回)	3 回
学校保健健診懇談会	1 回
学校保健シンポジウム	1 回
心電図精度管理調査解析検討会	1 回
令和7年度定期健康診断における精度管理説明会	1 回
小児CKD(慢性腎臓病)対策講習会	1 回
母体保護法指定医師審査委員会(Web会議 6回)	6 回
母体保護法指定医師講習会	3 回
・ 医療保険・介護保険の充実	
(医療保険関連)	
社保集団指導講習会並びに医療安全説明会	6 回
社保指導委員会(Web会議 5回)	6 回
(介護保険関連)	
地域医療介護委員会(Web会議 6回)	6 回
保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム	1 回
認知症地域医療研修検討委員会(Web会議 6回)	6 回
医療従事者の認知症対応力向上研修	3 回
かかりつけ医認知症対応力向上研修	2 回
認知症サポート医フォローアップ研修	1 回
産業医向け若年性認知症支援研修	1 回
認知症対応病院ピアレビュー事前説明会	1 回
認知症対応病院ピアレビュー活動報告会	1 回
・ 医療安全対策の推進	
医療安全対策委員会	12 回
医療安全対策(小)委員会	4 回
医療安全に関する講演会	1 回
医療安全対策委員会勉強会	1 回
県民のための医療安全講演会	1 回
医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会(Web会議 1回)	12 回
医療安全支援センター(苦情相談センター)小委員会(Web会議 2回)	2 回
医療安全支援センター(苦情相談センター)講演会	2 回

医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会	2 回
愛知県医師会剖検システム運営協議会	1 回
愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会	1 回
愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会	1 回
医療メディエーター研修	1 回
医療事故調査制度に関する研修会	1 回
医療事故調査制度コーディネーター養成研修会	1 回
医療事故調査制度コーディネーターブラッシュアップ研修会	1 回
・ 医療施設の整備	
精度管理委員会(Web会議 2回)	2 回
精度管理(小)委員会(Web会議 1回)	1 回
精度管理研修会	1 回
共同施設委員会(Web会議 2回)	2 回
・ 会員の福祉の向上	
会員相談窓口事例検討会	2 回
・ 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動 (渉 外)	
中部医師会連合常任委員会	13 回
中部医師会連合常任委員会懇談会	2 回
中部医師会連合日医代議員協議会	2 回
中部医師会連合委員総会	1 回
中部医師会連合社会保険特別委員会(Web会議 1回)	2 回
中部医師会連合地域包括ケア特別委員会(Web会議 1回)	2 回
中部医師会連合災害医療特別委員会(Web会議 1回)	2 回
中部医師会連合勤務医担当理事連絡協議会	1 回
中部医師会連合女性医師支援ドクターバンク連携事業中部ブロック会議	1 回
中部医師会連合共同利用施設連絡協議会	1 回
関西医師会連合常任委員会	1 回
(IT化対策)	
ホームページ・IT化対策委員会(Web会議 4回)	4 回
情報セキュリティ研修会(Web会議 1回)	1 回

(広 報)	
広報委員会(Web会議 10回)	10 回
報道関係者との懇談会	3 回
・ 医師・医療従事者対策	
(勤務環境改善支援)	
愛知県医療勤務環境改善支援センター運営協議会(書面開催 1回)	3 回
医療機関に対する働き方改革セミナー	3 回
特定労務管理対象機関を対象とした意見交換会(Web会議 4回)	4 回
(医師確保対策事業の推進)	
男女共同参画委員会(Web会議 5回)	5 回
医学生、若手医師と地域医療を考える会(Web会議 1回)	1 回
愛知県医師会 研修医ウェルカムパーティ	1 回
(医療従事者対策)	
医療関連職検討委員会(Web会議 1回)	1 回
愛知県看護協会との懇談会	1 回
学校法人電波学園あいちビジネス専門学校の日本医師会認定医療秘書養成に関する運営委員会	1 回
医療事務員講習会(Web会議 14回)	15 回
医療事務員資格認定試験	1 回
・ 会務運営・総務・財務	
県下医師会長等協議会(Web会議 1回)	8 回
議事運営委員会(Web会議 2回)	3 回
人事委員会	4 回
選挙管理委員会(書面開催 1回)	3 回
監事会	1 回
臨時監事会	1 回
業務監査(会館建設)	1 回
・ その他	
愛知県医師会DX推進プロジェクトチーム会議	3 回
愛知県医師会館建設委員会	3 回
愛知県医師会館建設小委員会	13 回

2. 業 務

(1) 諸調査の実施

- 1) 救急患者実態調査
- 2) 休日診療所における救急患者実態調査
- 3) 令和6年度年末年始(令和6年12月28日(土)～令和7年1月5日(日))における休日急病診療所の実態調査
- 4) 急性期脳卒中に関するアンケート調査
- 5) 急性心筋梗塞に関するアンケート調査
- 6) 熱傷入院患者取扱実績報告
- 7) 中部7県・大都府県における個別指導等の状況に関するアンケート調査
- 8) 中部7県における個別指導の実施体制に関するアンケート調査
- 9) 在宅医療・介護連携推進事業の運営状況に係るアンケート調査
- 10) 在宅医療の提供と医療・介護連携に関する実態調査
- 11) 小児時間外救急の実態調査
- 12) 気管支喘息発作に関するアンケート調査
- 13) アナフィラキシーに関するアンケート調査
- 14) 愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査
- 15) 看護職員確保事業(看護職員確保事業費補助金)に関する意向調査
- 16) 学校医・園医報酬調査

(2) 会報・医学雑誌その他の発行

- ・ 愛知医報
- ・ 「現代医学」誌 71巻1号・71巻2号(Web版・オープンジャーナル)

(3) 医学教育の向上

- ・ 現代医学

「現代医学」誌編集委員会において、「現代医学」誌71巻1号(6月27日発行)及び71巻2号(12月17日発行)の掲載内容を検討いたしました。また、71巻1号及び71巻2号は、オープンジャーナルとして本会ホームページ「医師の皆さまへ」において広く公開いたしました。

- ・ スポーツ医学

- 1) 健康スポーツ医の養成とその資質向上を通して地域保健活動の一環である健康スポーツ医活動の推進を図るために、日本医師会が定めた講習科目に基づく健康スポーツ医学講習会を修了したと認められる医師に、日本医師会認定健康スポーツ医の認定証が交付されます。本会ではその新規・更新に係る手続きを行い、新規20名、更新32名が認定を受けました。
- 2) 各団体が実施する研修会において、日本医師会認定健康スポーツ医制度における健康スポーツ医学再研修会としての承認申請の手続きを行い、4件の認定を受けました。
- 3) 本会主催の日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会を下記のとおり2回行い、研修会の参加者には受講証明書を交付いたしました。

1月 8日(水)	栄ガスビル	キングルーム	参加者:34名
3月21日(金)	栄ガスビル	キングルーム	参加者:21名

- ・ 治験推進事業

- 1) 先駆的な新薬開発に携わるという学術的な意義を会員に理解していただくことを目的として、臨床試験及び製造販売後臨床試験等の実施ネットワークを構築かつ推進するため、治験依頼者からの治験相談、治験実施医療機関の登録及び環境整備の支援を行いました。
- 2) 主として製薬会社主導の治験審査を行っており、会員治験実施医療機関が治験を安全かつスムーズに行えるよう、治験審査会を開催いたしました。

- ・ 倫理委員会

迅速審査を行い、6件のうち1件については研究期間の延長、3件については研究継続のため引き続き経過観察が承認されました。2件については研究が終了いたしました。

(4) 医師の生涯教育

- ・ 生涯教育

- 1) 「日本医師会生涯教育講座」を8月～2月に8回開催いたしました。〈別表3 参照〉
- 2) 令和6年度日本医師会生涯教育制度の単位申請にあたり、審査及び登録を行い、主催者から提出される報告書を基に、日本医師会全国医師会研修管理システムに受講実績を登録いたしました。

(5) 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

- ・ 調査室

- 1) マスメディア・業界誌はもとより、日医・関係団体、国会・地方議員、行政、有識者等の幅広い人脈を活かし、医療問題に限らずそれに影響する国内外の政治情勢、経済動向等に関する情報を収集し、議論を重ねました。その上で、あるべき医療政策の実現に向けて必要な提言・要望を行い、安心・安全な医療提供体制を維持する上で、健全な医業経営に向けた環境整備が必要であるとの考えのもと、関係法令の解釈、診療報酬改定や税制改正に伴う影響等についても検証いたしました。
- 2) 令和5年9月に実施した「会員意識及び実態調査」の報告書を、8月1日付で発行いたしました。
- 3) 調査室委員会勉強会として12月22日(日)に「石破内閣(以降)の医療・社会保障政策の見通し」をテーマに日本福祉大学名誉教授の二木 立先生にご講演いただき、48名の参加者がありました。

- ・愛知県医師会地域医療政策研究機構

愛知県医師会地域医療政策研究委員会では、県内のDPCデータ等を用いて、愛知県の医療資源の現状等の把握、今後のあり方や具体策について検討いたしました。

(6) 公衆衛生の指導啓発

- ・健康教育

- 1) 健康教育委員会では、健康教育講座、あいち健康ナビの運営や広報活動等について検討・協議いたしました。
- 2) 県民を対象とした健康教育講座を地区医師会・各分科医会の協力のもと23回開催いたしました。また、その講座(地域開催除く)の内容の要旨をあいち健康ナビに動画配信いたしました。〈別表4 参照〉
- 3) 県民向けに「誰もが・いつでも・どこでも」正しい健康情報を手に入れられるよう、愛知県の委託事業として、健康情報の総合サイト「あいち健康ナビ」を運用しております。セミナー、イベント情報の充実を図るため、県内の病院等、100機関(3月末日現在)に本サイトよりセミナーやイベント情報を発信する投稿団体としてご登録いただいております。

- ・環境衛生

- 1) 感染症、予防接種、環境保健、結核等の対策について、県当局と連携して地区医師会への情報提供を行いました。
- 2) 結核・感染症対策講習事業として、名古屋市・小牧市・安城市医師会に委託、愛知県医師会でも10月19日(土)に感染症及び結核講演会を開催して、136名の参加者がありました。
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団の委託研修として、3月1日(土)に感染症(HIV医療講習会)・予防接種研修会を開催して、105名の参加者がありました。
- 4) HPVワクチンのキャッチアップ接種にかかるキャンペーンについて
 - ・地区医師会・分科医会等からの要請により、キャッチアップ接種及び定期接種の接種率向上を目的に4月から9月までの半年間、キャンペーンを行いました。
 - ・キャンペーンを展開するにあたり、名古屋市医師会、愛知県内科医会、愛知県産婦人科医会、愛知県小児科医会、四大学の関係者、愛知県感染症対策課、医薬品卸を構成メンバーに『HPVワクチン接種の推進に関する検討会』を設置いたしました。また、子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)キャンペーンにかかるキャンペンドクター設置要領を制定して、名古屋大学医学部産婦人科講師の新美 薫先生を委嘱いたしました。
 - ・中部電力MIRAI TOWER(旧・名古屋テレビ塔)「煌」へのビジョン広告(6~9月)、名古屋市営地下鉄全線の窓と名鉄全線のドアへのステッカーによる広告(7~8月)、JR東海道線金山駅のホームドアシートへのポスター掲出(7月)、Instagram・YouTube広告(7月16日~9月16日)、県立学校や市町村へのリーフレット等の配付、大学等の食堂に設置する三角ポップの制作・配付、学校関係者向けの研修会、愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウム、につぼんど真ん中祭りへの参加等、様々な啓発活動を展開いたしました。併せて、イベント開催の際は、事前に報道関係者に案内をして、記事やニュースに取り上げてもらうように努めました。
 - ・キャンペーンを開始した4月は、キャッチアップ接種、定期接種ともに約2,000名であった接種が、9月はキャッチアップ接種30,657名、定期接種4,913名という結果になりました。また、前年同月(9月)比では、キャッチアップ接種18.4倍、定期接種3.7倍という結果になりました。

- ・広域予防接種事業

- 1) 愛知県広域予防接種事業運営委員会では、間違い報告への対応、今後の対象ワクチン、各種検討事項等について協議を行いました。また、接種間違い防止のための定期接種ワクチン接種時期算出システム「誤接種防止早見表」のアクセス数について報告しました。

- 2) 毎月20日に接種協力医療機関・医師名簿を更新し、愛知県に提出いたしました。また、本会及び地区医師会が開催する講習会等において、接種における注意事項や、書類の返戻件数といった内容を留意事項として伝達いたしました。
- 3) 令和7年度の本事業への協力依頼を2,856医療機関へ送付いたしました。
- 4) 接種協力医療機関は3月末日現在で、2,877件にご登録いただいております。

(7) 地域医療の推進発展

・ 地域医療構想

- 1) 第1回愛知県地域医療構想推進委員会を7月24日(水)に栄ガスビルにて開催し、「病床整備に関する考え方について(案)」をもとに愛知県地域保健医療計画に定められた新たな基準病床に関する考え方について、第2回愛知県地域医療構想推進委員会を2月10日(月)に東京第一ホテル錦にて開催し、各構想区域地域医療構想推進委員会における病床整備計画の協議について、各構想区域の委員会の委員長(地区医師会長)、病院団体協議会代表幹事病院(病院長)より地域の実状及び県全体としての方向性についての意見交換を行いました。
- 2) 県下各医師会長、愛知県病院団体協議会幹事病院長等を対象として研修会を以下のとおり開催いたしました。

地域医療構想の進め方に関する研修会

12月 8日(日) TKPガーデンシティPREMIUM
名古屋ルーセントタワー

参加者：82名

1月26日(日) ホテルアソシア豊橋

参加者：45名

・ 病診連携

地域医療支援病院の運営委員会や、大学の運営協議会等の委員として出席し、地域の病診連携の現状及びその問題点の把握に努めました。

・ 四大学連絡協議会

8月22日(木)に四大学の医学部長、病院長により、愛知県地域医療構想を協議することを目的に開催いたしました。「愛知県地域保健医療計画における新たな基準病床数に対する大学病院の考え方について」、「医師の働き方改革の推進と大学病院改革ガイドラインに基づく改革プラン(～診療改革を中心に～)の策定状況について」各大学の現状や考え方について意見交換いたしました。

・ 難治性疾患対策

- 1) 難病相談室の令和6年4月～令和7年3月の相談件数は2,122件で、月平均の相談件数は177件でした。〈別表5 参照〉
- 2) 愛知県・名古屋市指定難病審査会(Web会議)にて毎月審査を行いました。
- 3) 10月9日(水)に難治性疾患委員会を開催し、愛知県健康対策課・名古屋市障害企画課・愛知労働局職業対策課より令和5年度の実績報告がありました。また、難病相談室より令和5年度難病相談事業の実績並びに令和6年度の難病相談室事業実施計画の報告を行い、難病相談室相談医師規程について協議いたしました。
- 4) 難病講習会を10月1日(火)、10月22日(火)、10月31日(木)に愛知県、名古屋市と共催にて開催し、計255名の参加者がありました。
- 5) 2月14日(金)に令和6年度難病講演会を開催いたしました。「難病における“遺伝”の支援ー患者・家族に身近な皆様へのメッセージ」をテーマに、金沢大学附属病院遺伝診療部認定遺伝カウンセラーの関屋智子氏にご講演いただき、33名の参加者がありました。

6) 難病グループワーク(疾患別患者・家族のつどい)を以下のとおり開催いたしました。

12月11日(水)障害年金勉強会①	参加者：10名
1月22日(水)障害年金勉強会②	参加者：7名
1月22日(水)潰瘍性大腸炎患者・家族のつどい	参加者：9名
3月11日(火)網膜色素変性症患者・家族のつどい	参加者：5名
3月11日(火)特発性血小板減少性紫斑病患者・家族のつどい	参加者：9名

7) 行政にて開催された各種会議に年6回出席し、地域における難病患者や家族の現状、課題等について関係機関と協議並びに共有いたしました。

8) 保健所・保健センターにて開催された難病患者・家族のつどいの他、難病患者・家族の支援を担っている支援者向けの研修等に年13回、講師を派遣いたしました。

・糖尿病対策

1) 「世界糖尿病デー(11月14日)」ブルーライトアップ事業の経費補助について、愛知県糖尿病対策推進会議が窓口となり実施団体を取り纏めて、世界糖尿病デー実行委員会への申請を行いました。

2) 7月5日(金)に令和6年度愛知県糖尿病対策推進会議を開催し、糖尿病対策におけるかかりつけ医機能の充実を図るために、愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会の開催について検討いたしました。

3) 1月18日(土)にツドイコ 名駅東 カンファレンスセンターにおいて令和6年度愛知県糖尿病対策推進会議 学術講演会を開催し、68名の参加者がありました。

・在宅医療

1) 在宅医療推進事業の一環として、せん妄・認知症対策研修会を開催し、10月27日(日)35名、12月8日(日)43名、計78名の参加者がありました。また、摂食・嚥下機能支援に関する研修会を1月26日(日)に開催し、80名の参加者がありました。
在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議の一環として、県内地域の医療介護連携担当実務者を対象に在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議を開催し、12月3日(火)99名、1月15日(水)77名、計176名の参加者がありました。

2) 県下各地区医師会を対象に、7月に「在宅医療・介護連携推進事業の運営状況に係るアンケート調査」を行いました。

3) 愛知県より小児在宅医療普及推進事業を受託し、小児在宅医療推進企画委員会において、医師、医療従事者を対象とした研修を企画・立案し、医療的ケア児に対応できる人材を育成することで退院支援から生活の場における療養支援、急変時の対応等継続した小児在宅医療連携体制の構築を図るため、下記講習会を開催いたしました。

10月 6日(日) あいち小児在宅医療実技講習会	参加者：94名
11月 2日(土) 尾張西部小児在宅医療講習会	参加者：78名
2月22日(土) 知多半島小児在宅医療講習会	参加者：101名

(会場参加30名、Web参加71名)

4) 在宅医療を受けていた小児の死亡例を評価・検討する場として、小児在宅医療推進企画委員会にワーキンググループを設置し、予防可能な小児死亡を減らすことを目的として、死因の調査を行いました。

・警察

1) 警察関係業務の向上発展を図ることを目的として設置している愛知県医師会警察部会において、警察行政への協力、警察関係の医事研究向上、災害時における検案協力医体制の構築に努めました。

- 2) 検視立会医に対し、検視医研修会を2月15日(土)に開催いたしました。愛知県警察本部刑事部捜査第一課検視官室長の安西知広氏より「愛知県における検視・検案について」、愛知医科大学医学部法医学講座教授の妹尾 洋先生より「検案と解剖：中毒死体を中心として」と題してご講演いただき、50名の参加者がありました。

- ・ 勤務医

- 1) 勤務医の学術の向上、勤務環境の改善、福祉の増進、相互の連帯・親睦を図ること等を目的として勤務医部会を設置しており、隔月開催の勤務医部会幹事会において、勤務医が関わる問題について検討いたしました。また、広報活動として、愛知医報の「勤務医部会だより」に、幹事会議事内容の報告や、幹事が交代で執筆したコラムを掲載いたしました。
- 2) 愛知県勤務医師生活協同組合と連携し、勤務医の福利厚生の上にも力を入れました。6月19日(水)に、愛知県勤務医師生活協同組合総会に先立ち、講演会が開催され、愛知医科大学災害医療研究センター高橋礼子先生より「大規模災害における医療者の役割と保健医療福祉の連携」と題し、ご講演いただきました。

- ・ 日医電子認証センター(日本医師会認証局)

医師資格証の受渡し業務として、本会にて8件実施いたしました。
3月末日現在における愛知県内の登録者数は4,339名(内愛知県医師会非会員1,125名)となっております。

- ・ 日医かかりつけ医機能研修制度

- 1) 日医かかりつけ医機能研修制度令和6年度応用研修会(Web講習会)を9月16日(月・祝)に栄ガスビルキングルームにて開催し、67名の参加者がありました。
- 2) 本研修制度修了申請の受付を開始し、愛知県内では3月末日時点、136名の方が「日医かかりつけ医機能研修制度 認定証」を取得されております。なお、令和6年4月1日付で49名を認定し、認定証を交付いたしました。
- 3) 本研修制度を修了し認定証を交付された方を、地域のかかりつけ医として活動し、研鑽を続けている医師であると広く県民に示すため、本会ホームページへ認定者名簿を掲載しております。

(8) 救急医療・災害医療対策

- ・ 災害・救急医療対策

- 1) 愛知県医師会無線システム並びに愛知県広域災害・救急医療情報システム、災害時優先携帯電話、衛星携帯電話の運用訓練を6月4日(火)、7月2日(火)、8月6日(火)、9月3日(火)、10月1日(火)、11月5日(火)、12月4日(水)、2月5日(水)、3月4日(火)に行い、無線機等の使用方法の確認と災害を想定した訓練を行いました。
- 2) 6月23日(日)に名古屋掖済会病院にて医師、医療従事者、消防関係者等対象の災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会を開催し、医師11名、歯科医師1名、医療関係者36名、消防関係者46名、その他5名の合計99名の参加者がありました。
- 3) 小児救急に関する研修会を以下のとおり開催いたしました。

10月25日(金)	医療従事者向け	栄ガスビル5Fキングルーム	参加者：75名
1月24日(金)	学校関係者向け	TKPガーデンシティPREMIUM 名駅西口3F	カペラ 参加者：162名

- 4) 日本医師会、厚生労働省、総務省消防庁が作成した救急医療週間ポスター、CAB+Dカードの配付を行い、救急週間の啓発に努めました。また、9月9日(月)に東別院会館にて愛知県救急医療推進大会を開催し、日本医師会総合政策研究機構主任研究員の秋富慎司先生より、「実災害と危機管理 ー能登半島地震におけるJMAT活動を通じてー」、本会の河村英徳理事より「能登半島地震におけるJMAT愛知の活動について」をテーマに講演し、県民への救急医療に関する知識普及と医療関係者の意識の高揚を図り、80名の参加者がありました。
- 5) 10月10日(木)の中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練、10月24日(木)の県営名古屋空港消火救難総合訓練に、本会役職員の派遣、地区医師会から医療救護班を派遣いたしました。
- 6) 「こどもの命を守るために 事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー」を保育園等に勤務している方を対象に以下のとおり開催し、修了証を交付いたしました。
12月10日(火) 栄ガスビル5Fガスホール 参加者：59名
- 7) 令和6年度愛知県災害医療コーディネート研修を愛知県・愛知医科大学との共催により以下のとおり開催し、保健所・災害拠点病院関係・県下医師会等の参加者がありました。
6月30日(日) 日赤愛知災害管理センター棟 参加者：42名
1月12日(日) 日赤愛知災害管理センター棟 参加者：65名
- 8) 11月24日(日)に名古屋掖済会病院にて医師を対象に愛知県医師会PTLS講習会を開催し、参加者15名に修了証を交付いたしました。
- 9) 2月9日(日)に名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターにて医師・看護師を対象に愛知県医師会ICLS研修会を開催し、23名の参加者がありました。
- 10) 3月1日(土)に医師・医療従事者・消防職員等を対象に第41回救急医療・災害医療シンポジウム「救急搬送とICT～これからの救急搬送システムをDXの立場で考える～」をテーマに開催し、69名の参加者がありました。
- 11) 3月9日(日)に開催された「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2025」に救護スタッフとして医師23名を推薦いたしました。
- 12) 災害時の安否確認を目的とした「AKKシステム(愛知県医師会緊急確認システム Safetylink24)」について、A会員を対象に登録促進を行いました。また、登録の範囲を地区医師会役員及び事務局職員に拡充いたしました。3月末日時点で、3,055名にご登録いただいております。
- 13) 「小学生のための救急蘇生法講習」を愛知県内の小学校6年生を対象として開催し、14校904名の児童が参加いたしました。
- 14) 令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」において、JMAT(日本医師会災害医療チーム)を編成し、石川県へ5月6日(月・祝)、7日(火)に1班4名を派遣し、医療救護活動を行いました。
- 15) 4月26日(金)にWEBにて「令和6年能登半島地震」においてJMAT活動に参加された看護師を対象に「令和6年能登半島地震におけるJMAT活動の意見交換会」を開催し、14名が参加しました。
- 16) 中部医師会連合災害医療特別委員会が8月4日(日)は対面、9月22日(日)はWEBにて開催されました。「令和6年能登半島地震」の対応等について報告・意見交換を行いました。

- ・ 救急医療情報システム

救急患者実態調査、休日診療所における救急患者実態調査、急性期脳卒中に関するアンケート調査、熱傷入院患者取扱実績報告における調査、急性心筋梗塞に関するアンケート調査、アナフィラキシーに関するアンケート調査、気管支喘息発作に関するアンケート調査を昨年引き続き、実施いたしました。

(9) 地域保健の向上

- ・ 産業保健

- 1) 産業医学振興財団等の委託事業として、産業医研修事業を実施し、日本医師会認定産業医研修会として、更新研修、実地研修、専門研修を行いました。また、地区医師会、関係団体等の行う日本医師会認定産業医研修会に共催いたしました。
- 2) 日本医師会認定産業医については、新規申請者132名及び更新申請者753名が認定を受けました。

- ・ 精神保健

- 1) うつ病の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図るため、「かかりつけ医等心の健康対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、以下のとおり研修会を開催いたしました。

8月 4日(日)	ホテルアソシア豊橋	参加者：35名
11月10日(日)	サイプレスホテル名古屋	参加者：35名
12月 8日(日)	サイプレスホテル名古屋	参加者：39名
- 2) アルコール依存症の早期発見・介入等を行い、一層のアルコール健康障害対策の推進を図るため、「かかりつけ医等アルコール依存症対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、以下のとおり研修会を開催いたしました。

3月2日(日)	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅西口	参加者：112名
---------	-------------------------	----------

- ・ 学校保健の推進

- 1) 愛知県教育委員会、愛知県学校保健会等の関係会議へ出席し、各種事項について検討・協議いたしました。また、愛知県学校保健会の行事に参加いたしました。
- 2) 学校医の報酬実態調査を行い、調査結果を踏まえ、学校医の報酬に関して愛知県知事に要望書を提出いたしました。
- 3) 学校保健部会幹事会・学校健診委員会において、学校医・園医報酬、県立高等学校並びに県下小中学校の心電図精度管理等について、検討・協議いたしました。
- 4) 7月21日(日)に心電図精度管理調査解析検討会を開催し、健診機関、教育委員会から提出された心電図に関し、学校健診委員会の委員を中心に解析を行いました。
- 5) 8月1日(木)に学校医の先生方を始めとした医療関係者、養護教諭、3歳児健診関係者を対象に小児CKD(慢性腎臓病)対策講習会を愛知腎臓財団と共催にて開催し、91名の参加者がありました。
- 6) 11月9日(土)に第55回全国学校保健・学校医大会が宮崎県医師会の担当で開催され、本会からも出席いたしました。
- 7) 令和7年度県立高等学校学校医の取り纏めを行い、愛知県教育委員会へ学校医の推薦をいたしました。
- 8) 1月18日(土)に第39回学校保健健診懇談会を開催し、74名の出席がありました。定例報告に続いて、特別講演として「新しい包括的な小児生活習慣病予防健診について」と題し、和洋女子大学家政学部健康栄養学科教授の原 光彦先生よりご講演いただきました。
- 9) 3月2日(日)に学校保健シンポジウムを開催し、87名の参加者がありました。特別講演として「子供の性別違和感と精神科の役割」と題し、岐阜大学保健管理センター教授の深尾琢先生よりご講演いただきました。

- 10) 3月7日(金)に令和7年度定期健康診断における精度管理説明会を開催し、令和7年度に愛知県立学校の健診を実施する10の健診機関を対象に、愛知県立学校腎臓検診・心臓検診に対して学校健診委員会が行う精度管理について説明いたしました。

- ・ 母体保護法指定医師の指定

- 1) 母体保護法指定医師審査委員会にて審査の上、25名を新規指定するとともに、指導講習会を実施いたしました。3月末日現在における母体保護法指定医師は506名です。
- 2) 母体保護法指定医師に対し、母体保護法指定医師講習会を7月13日(土)、8月24日(土)、9月26日(木)に開催し、343名の参加者がありました。
- 3) 日本医師会母体保護法指定医師の指定基準モデルの一部改定に伴い、愛知県医師会母体保護法指定医師指定基準を見直し、令和7年4月1日より改定いたしました。

(10) 医療保険・介護保険の充実

(医療保険関連)

- ・ 社会保険

- 1) 社保指導委員会では、指導・監査に係る講評等を行うとともに、社会保険等の適切な運用に向けて協議・検討を行いました。
- 2) 保険診療の質的向上及び適正化を図るため、保険医療機関に対する指導監査の立会いを実施いたしました。
- 3) 中部医師会連合社会保険特別委員会が8月3日(土)はWeb会議にて、9月8日(日)は対面で開催され、指導監査実施状況及び保険医療機関・保険医の指定取消状況、令和6年度診療報酬改定における検討項目等について協議・報告、意見交換を行いました。
- 4) A会員(令和6年5月末現在)を対象に社保集団指導講習会並びに医療安全説明会を6回(10月23日(水)、11月6日(水)、12月12日(木)、1月13日(月・祝)、2月6日(木)、2月12日(水))開催いたしました。
- 5) 令和6年度診療報酬改定に伴い新設されたベースアップ評価料の関係文書や医療DX推進体制整備加算の取扱い等について会員に周知し、県下医師会長等協議会の場でも説明を行いました。
- 6) 東海北陸厚生局・愛知県の共催で実施している「新規指定集団指導」に本会も参加し、保険診療及び指導・監査等について説明を行いました。

(介護保険関連)

- ・ 介護保険

- 1) 地域医療介護委員会では地域包括ケア、介護保険、高齢者福祉、障害者福祉等に係る関連事業の検討、各地域の諸問題に関する情報交換を行い、地区医師会及び行政との連携体制の強化を図りました。
- 2) 県下各地区医師会を対象に、6月より「在宅医療の提供と医療・介護連携に関する実態調査」を行いました。
- 3) 中部医師会連合地域包括ケア特別委員会が8月25日(日)、9月22日(日)の2回開催されました。各県より地域包括ケアシステムの推進に関して特に力を入れている取り組みについて、また、在宅医療圏の設定の有無、在宅医療提供体制への県医師会の関与や課題について協議・報告、意見交換を行いました。その他、非がん疾患症例におけるACPの状況、高齢者施設等と医療機関の連携の状況、保険者機能強化推進交付金の減額の影響について意見交換を行いました。

- 4) 2月16日(日)に保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム(テーマ:災害時における医療・介護連携〜日頃の連携と対策で関連死ゼロに!〜)を開催し、会場参加68名、Web参加199名、計267名の参加者がありました。

・ 認知症対策

- 1) 認知症地域医療研修検討委員会では、認知症の容態に応じた適切な医療の提供が可能となる支援体制を構築するための研修について検討いたしました。
- 2) 愛知県下で開業又は勤務する医師(名古屋市医師会を除く会員)に対し、かかりつけ医認知症対応力向上研修を開催し、7月6日(土)54名、7月20日(土)80名、計134名の参加者がありました。
- 3) 医療機関に勤務する医師、看護師、薬剤師、リハビリ職種を始めとした多職種の医療従事者を対象に、医療従事者の認知症対応力向上研修を開催し、9月21日(土)68名、10月12日(土)67名、11月30日(土)65名、計200名の参加者がありました。
- 4) 認知症サポート医を対象に、12月14日(土)に認知症サポート医フォローアップ研修を開催し、49名の参加者がありました。
- 5) 産業医等を対象に、1月29日(水)に産業医向け若年性認知症支援研修を開催し、58名の参加者がありました。
- 6) 認知症対応病院ピアレビューの参加病院等に対し、3月13日(木)に認知症対応病院ピアレビュー活動報告会を開催し、33病院から69名の参加者がありました。

(11) 医療安全対策の推進

・ 医療事故・医事紛争対策

- 1) 医療事故・医事紛争対策については、医療過誤の未然防止、医事紛争処理、医療賠償等の観点から、医療安全対策委員会において種々検討いたしました。さらに、実効性のある医事紛争解決と医療安全のあり方について、医療安全対策小委員会で検討いたしました。
- 2) 日本医師会「医師賠償責任保険」の関係では、20件を日本医師会へ付託いたしました。また「日医医賠責特約保険」の加入者は、3月末日現在で1,935名になりました。
- 3) 医療事故調査制度相談窓口への相談・支援依頼は相談が4件、支援依頼が17件ありました。
- 4) 9月15日(日)・16日(月・祝)に愛知県看護協会において、医療メディエーター研修を開催いたしました。医療事故調査制度における初期対応支援の中でも重要とされる遺族対応について習得することを目的に研修を行い、看護師、事務職員等29名が受講しました。
- 5) 3月21日(金)に愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会を開催いたしました。また、愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会幹事会を9月6日(金)に開催し、医療事故調査制度に関する情報交換、「医療事故発生時に診療所等の小規模医療機関または、事故調査が不慣れた医療機関から支援を求められた場合の初動支援チーム派遣体制の構築」について協議を行いました。
- 6) 12月5日(木)に栄ガスビルにおいて、医療事故調査制度に関する研修会を開催いたしました。2名の講師をお招きし、島根大学医学部環境保健医学講座教授の名越 究先生からは「医療事故調査がもたらすもの」と題しご講演いただき、厚生労働省医政局地域医療計画課医療安全推進・医務指導室長の松本晴樹様からは「医療安全施策の最近の動向」と題しご講演いただき、128名の参加者がありました。

- 7) 10月27日(日)にコートヤード・バイ・マリオット名古屋において、医療事故調査制度コーディネーター養成研修会を開催いたしました。医療事故発生時に診療所等の小規模医療機関または、事故調査が不慣れな医療機関から支援を求められた場合に、初動支援チームのメンバーとして対応できる事項を習得することを目的に、事務職員、看護師を対象として37名の参加者があり、参加者全員にコーディネーター認定証を授与いたしました。また、12月1日(日)に過去のコーディネーター養成研修会の受講者を対象に、医療事故調査制度コーディネーターブラッシュアップ研修会を開催いたしました。初動支援チームのメンバーとして対応できる知識とスキルをさらに向上させることを目的に行い、17名の参加者がありました。
- 8) 医療事故調査制度コーディネーター養成研修会、医療メディエーター研修に参加をいただいた医師、看護師等を対象に登録をいただき、小規模医療機関より医療事故調査の全面支援の依頼があった際に、初動支援チームとして医療機関へ出向いていただく体制を整備いたしました。3月末日時点で医師、看護師等合わせて54名に登録をいただいております。

・医療安全支援センター(苦情相談センター)

- 1) 令和6年4月～令和7年3月の相談受付件数は新規・継続ケースを合わせて1,655件となりました。相談窓口業務及び対応を相談員(看護師、医療ソーシャルワーカー)が担い、医療に関わる専門的な対応については、担当理事及び医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会の専門委員(医師)によって適切に行われました。
- 2) 6月1日(土)に名古屋サンスカイルームにおいて、令和6年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第1回事例検討会を開催し、166名の参加者がありました。
- 3) 医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会を毎月開催し、担当理事・専門委員が対応した事例の報告ならびに検討を行いました。また、小委員会では、事例検討会開催に向け、議論の内容等について協議いたしました。
- 4) 10月19日(土)に名古屋国際会議場国際会議室において、令和6年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第1回講演会を開催いたしました。「医療機関を守る記録とは～診療録からはじめる医療安全対策～」をテーマに、弁護士法人 後藤・太田・立岡法律事務所弁護士の水野吉博氏にご講演いただき、208名の参加者がありました。
- 5) 12月10日(火)にウインクあいちにおいて、令和6年度医療安全対策推進事業県民のための医療安全講演会を開催いたしました。「賢い患者になるための役立つ情報」をテーマに、認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル) 理事長 山口育子氏にご講演いただき、56名の参加者がありました。
- 6) 1月25日(土)にホテルメルパルク名古屋において、令和6年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第2回事例検討会を開催し、182名の参加者がありました。
- 7) 1月31日(金)に下関市役所において、医療安全管理研修が開催され、「愛知県医師会医療安全支援センターの報告から～対応事例を共有して日々の診療に生かす～」をテーマに講演し、約90名の参加者がありました。
- 8) 2月22日(土)にTKP名古屋ガーデンシティPREMIUM名古屋ルーセントにおいて、令和6年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)第2回講演会を開催いたしました。「患者さんとの上手な接し方～医療安全に必要な臨床医必須のスキル～」をテーマに、日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科教授の勝俣範之先生にご講演いただき、210名の参加者がありました。
- 9) 「愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会・講演会報告集2025」を作成し、会員始め関係機関へ配付いたしました。

- ・医療安全対策

- 1) 11月7日(木)にTKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前において、医師・医療従事者向けの医療安全に関する講演会を開催いたしました。「介護・医療現場における転倒・転落～実情と展望～11団体共同声明」をテーマに、浜松医科大学医学部総合人間科学講座法学教授の大磯義一郎先生にご講演いただき、89名の参加者がありました。
- 2) 2月8日(土)に名古屋東急ホテルにおいて、愛知県医師会医療安全対策委員会勉強会を開催いたしました。「いかにして、在宅医療・ケア提供者の安全を守れるか」をテーマに医療法人桜花会あすか在宅クリニック理事長の高添明日香先生にWebにてご講演いただき、本会役員始め46名の参加者がありました。

- ・剖検システム

- 1) 医療安全対策の一環として運営している愛知県医師会剖検システムは、愛知県下四大学病院の病理部門のご協力をいただき、順調な運営を続けております。
- 2) 2月13日(木)に名古屋東急ホテルにおいて、愛知県医師会剖検システム運営協議会を開催し、令和6年の運営状況(決算報告)、症例報告等を行いました。

(12) 医療施設の整備

- ・共同利用施設

- 1) 11月4日(月・祝)にホテル金沢(石川県)にて開催された「令和6年度中部医師会連合共同利用施設連絡協議会」に参加し、「災害時における医師会共同利用施設のあり方について～地域で想定される災害を踏まえて～」をテーマに、中部各県の共同利用施設の現状や課題について報告、意見交換を行いました。
- 2) 共同施設委員会では、例年実施している各施設における現況調査の報告に加え、上記協議会等について情報提供を行いました。

- ・臨床検査精度管理

- 1) 県下における臨床検査施設の実態把握と精度向上を図る目的で、直送方式の精度管理調査(免疫学(血清学)・血液学・病理学・生化学・尿)を実施いたしました。
- 2) 2月5日(水)に精度管理研修会を開催し、名古屋市立大学病院中央臨床検査部准教授・部長の井上貴子先生を講師に迎え、特別講演として「病院の品質改善と臨床検査」をテーマにご講演いただき、73名の参加者がありました。

(13) 会員の福祉の向上

- ・労働保険事務組合

委託事業所数は68件(3月末日現在)であり、前年度から2件の減少がありました。事務手続きは社会保険労務士事務所へ委託しており、手続き件数は取得59件、喪失68件でした。

- ・生命保険団体取扱い

生命保険団体取扱事務の現状は、生命保険会社7社と契約し、契約人数315名、契約件数466件であり、月掛取扱保険料は3,286万余円でした。〈別表6 参照〉

- ・会員相談窓口

- 1) 令和6年4月～令和7年3月の一般相談件数は406件あり、診療報酬に関する相談は128件でありました。相談の対応については、担当理事を始め、専門家の見解を得て、適切に行っております。

- 2) 会員相談窓口事例検討会を10月2日(水)、3月31日(月)に開催し、相談件数や内容の報告の他、会員相談窓口事例検索システムへの掲載事例について検討を行いました。

- ・ 事業概要等説明会

3月6日(木)に、令和5年6月～令和6年9月の期間に新たにA会員となられた方を対象として開催いたしました。説明会では、「医師会の機構と事業」・「保険診療上の留意点」・「苦情相談、会員相談窓口、医療安全、医療事故調査制度」について担当理事からそれぞれ説明を行い、46名の参加者がありました。

(14) 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動

(渉外)

- ・ 中部医師会連合

中部医師会連合の事業年度は規約により、7月1日から翌年6月30日までの1年間であるため、令和6年4月～6月は前年度に引き続き静岡県が、7月からは石川県が主務担当となりました。

常任委員会13回、常任委員会懇談会2回、日医代議員協議会2回、委員総会1回、社会保険特別委員会2回(Web会議1回)、地域包括ケア特別委員会2回(Web会議1回)、災害医療特別委員会2回(Web会議1回)、事務局長連絡協議会2回が開催されました。

また、11月4日(月・祝)に共同利用施設連絡協議会、11月16日(土)～17日(日)に委員総会及び勤務医担当理事連絡協議会(16日(土)のみ)が開催されました。

- ・ 関西医師会連合

今年度の主務担当県は兵庫県で、8月3日(土)に京都市において関西医師会連合常任委員会が開催されました。次年度主務県は愛知県になりました。

(IT化対策)

- ・ ホームページ・IT化対策

- 1) ホームページ・IT化対策委員会において、令和6年度 情報セキュリティ研修会を企画・検討いたしました。また、本会ホームページのリニューアルについて協議を行いました。
- 2) 11月7日(木)にWeb会議システムを用いて情報セキュリティ研修会を開催し、123名の参加者がありました。また、本研修会動画を本会YouTubeチャンネルに公開いたしました。
- 3) 会員への情報提供を迅速に行うため、本会ホームページ及び愛医通信を運用し、内容の充実に努めました。
- 4) 日本医師会医療IT委員会に委員として参加し、会長諮問事項について検討・協議いたしました。また、3月8日(土)から9日(日)にかけて開催された令和6年度日本医師会医療情報システム協議会に参加いたしました。

(広報)

- ・ 広報

- 1) 医師会活動等を報告する本会機関誌「愛知医報」を毎月2回(1日・15日)発行いたしました。掲載内容・構成については広報委員会において検討・決定いたしました。
- 2) 本会が主催する各種研修会や、関連団体事業についてのお知らせ等、会員にとって身近で役に立つ情報を配信するため、「公益社団法人愛知県医師会 LINE公式アカウント」を新たに開設し、11月1日(金)より運用を開始いたしました。

- ・ 対外広報

報道関係者との懇談会を以下のとおり開催いたしました。

5月23日(木) 愛知県医師会仮事務所

- ・ HPVワクチン接種勧奨キャンペーンについて(田那村理事)
- ・ 愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウムについて(愛知県)
- ・ 子宮頸がんとHPVワクチンについて(新美キャンペーンドクター)

6月30日(日) ウィルあいち

- ・ 愛知県HPVワクチン普及啓発シンポジウムを終えて、
キャッチアップ接種対象者へ伝えたいこと(新美キャンペーンドクター)
- ・ HPVワクチン接種勧奨キャンペーンについて(田那村理事)

11月14日(木) 昭和ビル

- ・ 医師偏在対策について(柵木会長)
- ・ オンライン資格確認を巡る医療現場と政治の動向について(高橋理事)
- ・ HPVワクチンのキャッチアップ接種にかかるキャンペーンを終えて(田那村理事)

(15) 医師・医療関係従事者対策

(勤務環境改善支援)

- ・ 医療勤務環境改善支援センター

- 1) 愛知県の医療勤務環境改善支援センター運営事業、愛知労働局の医療労務管理支援事業を受託いたしました。
- 2) 医療機関に対する労務管理支援として、医療従事者が健康で安心して働くことができる環境整備を目的に、個別支援業務延べ300件、相談対応業務延べ479件を行いました。
- 3) 当センターの活動内容、勤務環境改善に関する好事例の紹介、セミナー等の開催案内、働き方改革関連の最新情報等の情報提供を目的とした広報誌「いきサポ愛知」を隔月発行いたしました。
- 4) 医師の働き方改革関連の情報や各種研修会のお知らせをより多くの方々にいち早く発信するため、医療関係者向けのメールマガジンを配信いたしました。
- 5) 当センターの利用勧奨を目的としたリーフレットを作成し、愛知県下全医療機関に配付しました。
- 6) 愛知県下の医療機関を対象に、改正労働基準法の内容を含む労働時間に関する制度の周知、理解促進を目的とした説明会を以下のとおり行いました。

医療機関に対する働き方改革セミナー

6月 5日(水) 栄ガスビル

参加者：69名

9月 2日(月) 栄ガスビル【台風の影響により中止】

11月11日(月) 栄ガスビル

参加者：74名

1月20日(月) 栄ガスビル

参加者：48名

- 7) 愛知県より特定労務管理対象機関の指定を受けた医療機関が、医師の労働時間短縮計画に基づく取組を進める中で生じた疑義等について、他院での取組等を情報収集することにより自院での問題解決に繋げることを目的とした意見交換会を以下のとおり行いました。

大学病院を対象とした意見交換会(Web開催)

8月20日(火) 参加者：15名

大学病院以外を対象とした意見交換会(Web開催)

10月24日(木) 参加者：8名

10月25日(金) 参加者：10名

10月29日(火) 参加者：12名

- 8) 愛知県下各労働基準監督署主催の「医療機関に対する労働時間等説明会」に医療労務管理アドバイザー等を派遣し、医療機関の勤務環境に関する支援について計16回説明を行い、利用勧奨いたしました。

(医師確保対策事業の推進)

- ・ 医師確保

- 1) 事務局内に愛知県医師会地域医療人材育成センター(ドクターバンクあいち)窓口を開設し、医師の職業紹介事業を行っており、愛知県地域医療支援センターと連携して対応しております。愛知医報並びにホームページにてドクターバンクあいちに登録のある求人医療機関の情報発信を行い、求職医師に最新情報を随時提供できるよう努めております。職員による医療機関への訪問等、求人機関、求職者の希望に柔軟に対応いたしました。紹介件数は20件で、採用件数は10件でありました。
- 2) 7月1日より日本医師会と業務提携を結び、日本医師会女性医師バンクに求職者登録している医師のうち愛知県を就業希望地とする医師がいた場合は、ドクターバンクあいちが管理する求人施設の了解を得た上で求人情報を紹介することといたしました。

- ・ 男女共同参画

- 1) 近年、医療現場で働く女性医師数の増加が著しく、女性の活躍の場が増えている一方で、医師としてのキャリア形成と家事・育児との両立を始めとする数多くの問題があります。昨今の医師不足の中、これからも増加していくであろう女性医師や女子医学生の活用は必要不可欠なことを考え、多くの諸問題に注視し、共同参画の実現に向け、男女それぞれの役割等、広い視野を持って取り組みました。
- 2) 日本医師会男女共同参画委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 3) 日本医師会女性医師支援センター事業運営委員会に委員として参加し、事業内容等について、検討・協議いたしました。
- 4) 11月15日(金)に春日井市民病院と中継を結び、「医学生、若手医師と地域医療を考える会」を開催いたしました。講師の愛知県地域医療構想アドバイザー 伊藤健一先生、春日井市民病院初期研修医 伊藤 伸先生、春日井市民病院医務局長 坂 洋祐先生より、「働き方改革の光と闇～影ではなく～」・「研修医からみた働き方改革に対しての現状と問題点」・「地域医療と研修医教育の両立」と題しご講演をいただき、現地参加13名、ZOOMによるオンライン参加14名の合計27名の参加者がありました。

- ・ 若手医師対策

4月13日(土)に名古屋東急ホテルにて、臨床研修指定病院の病院長、指導医、研修医の先生方を対象として、「令和6年度 愛知県医師会 研修医ウェルカムパーティ」を開催し、第一部研修会では、東海北陸厚生局の中山 鋼局長より「保険診療の理解のためにー初期臨床研修医ー」、本会より「医師が医師会を持つことのメリット」、「医師会に入ることのメリット」と題して講演いたしました。第二部情報交換会では、臨床研修指定病院6病院の研修医からそれぞれ発表がありました。医師会関係者を含め171名の参加者がありました。

- ・ 臨床研修医の入会促進

臨床研修指定病院の臨床研修医への入会について、文書により依頼しました。3月末日現在で743名(うち新たに411名)の先生方にC会員としてご入会いただきました。

(医療従事者対策)

・医療従事者対策

- 1) 医療関連職検討委員会において、各看護学校より入学・卒業、准看護師資格取得状況等が報告され、問題点等を検討いたしました。また、愛知県下にて准看護師養成所の学生募集が円滑に行えるよう検討いたしました。
- 2) 看護職員確保事業(看護職員確保事業費補助金)をより多くの医師会に実施していただくため、県下医師会に対し意向調査を実施いたしました。
- 3) 医療事務員講習会を9、10、11月に開催し、全15日間、30講座を行いました。12月には資格認定試験を行い、47名が受験し47名全員が合格いたしました。

・医療秘書学院

- 1) 平成27年度よりあいちビジネス専門学校(全日制)「医療秘書科」へ運営を委託しており、令和元年度より同校「診療情報管理士科」へ追加委託をいたしました。令和6年度は医療秘書科53名、診療情報管理士科38名、合計91名が入学いたしました。
- 2) 10月30日(水)にあいちビジネス専門学校にて、第28回医療保険請求事務実技試験が行われ、75名が合格いたしました。
- 3) 2月2日(日)にあいちビジネス専門学校にて、第45回日本医師会医療秘書認定試験が行われ、74名が合格いたしました。
- 4) 医療秘書科43名、診療情報管理士科36名が医療秘書課程を修了しました。3月13日(木)にはあいちビジネス専門学校の卒業式が行われ、医療秘書科43名が卒業しました。

(16) 会務運営・総務・財務

・DX推進プロジェクトチーム会議

DX推進プロジェクトチーム会議では、新会館での業務開始を見据え、本会事務局業務のDX化を推進するため、会館設備及び会館予約のDX化、会計業務を始めとする各種業務のDX化並びにAIの利活用について検討・協議いたしました。また、検討内容を愛知県医師会館建設小委員会及びホームページ・IT化対策委員会に情報提供いたしました。

・会館整備

- 1) 仮事務所において、5月に特定建築物の定期検査を実施し、特に指摘箇所はありませんでした。
- 2) 仮事務所において、消防点検を実施し、非常放送や火災感知器等の消火設備の動作確認を行いました。また、定期点検も各法に基づいて適正に実施いたしました。

・会館建設委員会

- 1) 5月13日(月)に第12回会館建設委員会を開催し、令和6年度愛知県医師会館建替計画の進捗状況(会館建替計画進捗状況、令和5年度仮事務所改修費等確定額、新築工事(既設解体工事含)全体工程表、アスベスト撤去工事等)について報告を行い、地鎮祭の日程について6月末の工程より日程を判断する旨を委員へ報告いたしました。
新築工事関係においては、会館のDXについて(セキュリティ・清掃・空調・電気・ガス等の集中管理)情報提供いたしました。
また、寄附金募集について金額及び募集方法等について引き続き検討していくこととなりました。
- 2) 10月5日(土)に執り行われた地鎮祭後に、第13回会館建設委員会を開催しました。
6月の代議員会後から地鎮祭までの旧会館の解体工事状況について、工事写真を元に報告し、寄附金(趣意書・寄附金額・銘板等)について意見交換がなされました。

- 3) 1月27日(月)に第14回会館建設委員会を開催し、既設外壁(山留め壁利用)と新築地下外壁の干渉に伴う追加工事費用・工期延長に伴う設計監理費用について報告いたしました。

・ 会館建設小委員会

- 1) 令和6年1月11日(木)～18日(木)に実施されたボーリング調査の結果、昭和54年の調査情報を基に計画していた17本の杭の長さ(約30m)では、支持層に届いていないことが判明いたしました。当初、杭の長さを31.5mで考えておりましたが、31.8mに延長することが必要となり、2,675,475円の追加費用が発生するため協議いたしました。
- 2) 旧会館に設置されていた陶壁については、4月13日(土)に全て撤去が完了し、4月17日(水)に仮事務所へ仮置きいたしました。価値があるものと考えられるため、改めて査定が可能かどうか、業者を探すこととなりました。
- 3) 5月17日(金)～18日(土)の深夜に建物階上解体に向けてクレーンを旧会館の屋上にあげ、順次内部解体を進め、9月末には1階までの解体が完了いたしました。
- 4) 煙突アスベスト及び各階天井内ダクト・パッキン配管エルボに含まれるアスベストの除去が142ヶ所から895ヶ所へ増大したことによる工事について、追加工事契約(工事費6,853,000円)を結ぶことを協議いたしました。また、アスベスト撤去については、防護服等を着用し安全に十分注意し作業が進められました。
- 5) 7月8日付にて新会館が建築基準法第6条第1項の建築基準関係規定に適合していることが証明され、確認済証が交付されました。
- 6) 設計会社より、建築確認申請による変更項目に基づくコストの増減についての説明を受けました。消防(非常時の排煙)の観点からの2階講堂の一部変更、構造、電気、機械系統の変更を含め、全体で3,927,000円の増となりました。
- 7) 10月5日(土)午後2時より、中区栄の会館建設場所において地鎮祭を執り行い、本会役員始め建設委員会委員及び事務局職員、設計会社、施工会社が出席し、今後の安全施工を祈願するとともに着工を祝いました。
- 8) 10月22日(水)に旧会館南側道路側の既設地下外壁の位置が、40年前の設計図よりも北側へ373mm～420mm寄っており、新築の地下外壁と干渉する(構造物が重なる)ことが判明しました。設計会社、施工会社が対応策を検討しましたが大幅な工期延長となることから、干渉する範囲を撤去することが工事費削減及び工期延長が縮小されると、小委員会にて示されました。
(竣工：令和8年8月31日→令和8年12月25日)
- 9) 既設地下外壁の解体撤去に要する費用は127,600,000円、工期延長による追加の建築業務監理費は14,300,000円となりました。
小委員会では旧会館が建っている状態では全く予期出来なかったことであり、やむを得ないことと判断し、理事会へ報告し承認を得ております。
- 10) 業務監査として監事の先生方に小委員会にご出席いただき、委員会終了後には設計会社・施工業者からの工事進捗状況説明を交えながら、新会館建設現場の視察を行っていただきました。
- 11) 会館に係る寄附金について、募集方法・開始時期等について様々な意見交換をし、下記のとおり決定し、4月の建設委員会で検討することとしました。
【募集期間】個人・法人：令和7年5月1日～令和8年7月31日
 関連団体：令和7年10月1日～令和8年7月31日
【募集金額】個人 ：1口10,000円 5口以上
 法人・関連団体：1口10,000円 10口以上

- 12) 新築工事準備のための地中障害物の撤去(既存杭等)は3月8日(土)で完了いたしました。
3月24日(月)より設計会社の立会いのもと、新築杭の打設を行う作業が開始され、新築杭
17本中5本を3月31日(月)までに打設いたしました。

- ・ 医師会 会員情報システム(MAMIS)

日本医師会が新たに開発した「医師会 会員情報システム(MAMIS)」の運用を11月1日(金)
より開始いたしました。また、併せて本会ホームページに「公益社団法人愛知県医師会
入会・異動特設ページ」を開設し、会員周知に努めました。

- ・ 会館運営

日常における法定清掃を適正に行い、会館の維持管理に努めました。また、会館管理規程
に則り、適正な会館運営をいたしました。〈別表7参照〉

会 員 数 〈 別 表 1 〉

令和7年3月31日現在の本会会員数は11,080名で県下医師会別は下表の通りであります。

区 分	会 員 数(名)			
	A会員	B会員	C会員	計
名古屋市	1,859	2,057	205	4,121
一宮市	228	473	62	763
瀬戸旭	118	134	35	287
半田市	73	70	16	159
春日井市	176	152	33	361
津島市	47	54	12	113
小牧市	84	47	0	131
東海市	67	46	0	113
岩倉市	24	23	0	47
東名古屋	182	73	0	255
西名古屋	88	97	0	185
尾北	128	150	26	304
稲沢市	78	64	11	153
海部	138	167	26	331
知多郡	188	120	6	314
豊橋市	221	294	7	522
岡崎市	212	279	29	520
豊川市	95	111	10	216
碧南市	36	28	0	64
刈谷	129	165	35	329
豊田加茂	218	289	60	567
蒲郡市	47	33	0	80
安城市	99	134	1	234
西尾市	73	47	7	127
北設楽郡	5	1	0	6
新城市	27	13	0	40
田原市	28	20	1	49
名古屋大学	1	124	2	127
名古屋市立大学	1	132	27	160
藤田医科大学	1	148	76	225
愛知医科大学	1	120	56	177
合 計	4,672	5,665	743	11,080

物 故 会 員 〈 別 表 2 〉

(令和6年4月～令和7年3月届出分)

氏 名	年 齢	地 区	死亡年月日
田 中 裕 二 様	78 歳	豊 川 市	R5. 12. 8
土 屋 正 孝 様	91 歳	豊 橋 市	R5. 12. 28
小 林 泉 様	78 歳	名 古 屋 市	R6. 1. 11
山 原 武 様	82 歳	名 古 屋 市	R6. 2. 6
服 部 泰 子 様	69 歳	名 古 屋 市	R6. 2. 8
石 川 芳 久 様	90 歳	知 多 郡	R6. 2. 18
加 藤 康 夫 様	92 歳	一 宮 市	R6. 2. 26
児 玉 三千男 様	91 歳	名 古 屋 市	R6. 3. 4
城 義 政 様	74 歳	稲 沢 市	R6. 3. 9
桜 井 恒 良 様	90 歳	蒲 郡 市	R6. 3. 10
大 岩 郁 子 様	96 歳	知 多 郡	R6. 3. 10
臼 井 明 生 様	89 歳	名 古 屋 市	R6. 3. 11
井 手 初 穂 様	67 歳	東 名 古 屋	R6. 3. 19
加 藤 丈太郎 様	88 歳	碧 南 市	R6. 3. 26
浅 井 シヅ子 様	97 歳	西 尾 市	R6. 4. 1
野 村 忠 男 様	97 歳	一 宮 市	R6. 4. 18
藤 野 宏 紀 様	59 歳	名 古 屋 市	R6. 4. 22
三 木 敏 彦 様	97 歳	海 部	R6. 4. 22
井 上 禎 三 様	90 歳	西 尾 市	R6. 5. 1
加 藤 春 様	97 歳	名 古 屋 市	R6. 5. 12
尾 藤 長 雄 様	84 歳	豊 田 加 茂	R6. 5. 14
加 藤 壽太郎 様	85 歳	豊 橋 市	R6. 5. 14
野 口 幸 啓 様	71 歳	名 古 屋 市	R6. 5. 26
亀 島 茂 様	76 歳	名 古 屋 市	R6. 5. 27
鈴 木 進 様	83 歳	岡 崎 市	R6. 6. 4
伊 藤 二 葉 様	100 歳	名 古 屋 市	R6. 6. 7
加 納 覚 様	97 歳	瀬 戸 旭	R6. 6. 9
藤 井 清 史 様	87 歳	蒲 郡 市	R6. 6. 14
相 羽 武 夫 様	87 歳	名 古 屋 市	R6. 6. 29
平 瀬 達 也 様	95 歳	刈 谷	R6. 6. 30

氏 名	年齢	地 区	死亡年月日
野々田 亨 様	71 歳	安 城 市	R6. 7. 13
福 島 正 夫 様	99 歳	一 宮 市	R6. 7. 15
和 田 正 敏 様	78 歳	名 古 屋 市	R6. 7. 16
南 洋 二 様	70 歳	名 古 屋 市	R6. 7. 21
酒 井 壽 男 様	81 歳	豊 橋 市	R6. 7. 22
中 村 真 人 様	70 歳	豊 橋 市	R6. 7. 24
江 口 孝 様	93 歳	尾 北	R6. 7. 25
久 野 聖 斗 様	25 歳	名 古 屋 市	R6. 7. 27
成 田 収 様	90 歳	名 古 屋 市	R6. 8. 5
阿 部 稔 雄 様	94 歳	名 古 屋 市	R6. 8. 16
三 浦 恒 久 様	88 歳	豊 橋 市	R6. 8. 17
宍 戸 量 一 様	94 歳	西 尾 市	R6. 9. 7
米 倉 英 明 様	95 歳	一 宮 市	R6. 9. 9
長谷川 恒 子 様	102 歳	海 部	R6. 9. 22
安 藤 文 隆 様	89 歳	名 古 屋 市	R6. 9. 23
佐久間 貞 行 様	93 歳	名 古 屋 市	R6. 9. 27
武 田 匡 弘 様	71 歳	豊 川 市	R6. 10. 12
龍 華 一 男 様	84 歳	名 古 屋 市	R6. 10. 23
小 林 武 様	84 歳	尾 北	R6. 10. 28
清 水 哲 雄 様	92 歳	一 宮 市	R6. 11. 2
水 谷 錦 子 様	101 歳	名 古 屋 市	R6. 11. 11
藤 原 義 久 様	76 歳	名 古 屋 市	R6. 11. 11
横 瀬 美年子 様	97 歳	名 古 屋 市	R6. 11. 12
藤 井 日出男 様	101 歳	西 尾 市	R6. 11. 18
林 一 成 様	65 歳	名 古 屋 市	R6. 11. 19
渡 部 照 和 様	92 歳	岩 倉 市	R6. 11. 22
村 田 さかゑ 様	97 歳	知 多 郡	R6. 11. 28
新 田 正 廣 様	76 歳	瀬 戸 旭	R6. 12. 10
西 川 卓 也 様	73 歳	尾 北	R6. 12. 11
宮 本 俊 雄 様	83 歳	新 城 市	R6. 12. 18
鈴 木 慶 三 様	97 歳	名 古 屋 市	R7. 1. 6
廣 瀬 直 記 様	76 歳	名 古 屋 市	R7. 1. 9
谷 一 夫 様	84 歳	一 宮 市	R7. 1. 9
林 登志雄 様	67 歳	名 古 屋 大 学	R7. 1. 10
早 川 式 彦 様	84 歳	岡 崎 市	R7. 1. 10
西 村 忠 郎 様	88 歳	名 古 屋 市	R7. 1. 10

氏 名	年齢	地 区	死亡年月日
近 藤 和 子 様	97 歳	名 古 屋 市	R7. 1. 15
森 川 満 夫 様	86 歳	一 宮 市	R7. 1. 17
宮 田 幾之輔 様	90 歳	尾 北	R7. 1. 27
志 水 哲 也 様	87 歳	小 牧 市	R7. 1. 28
額 額 直 樹 様	67 歳	瀬 戸 旭	R7. 1. 29
渋谷 晋市郎 様	90 歳	岡 崎 市	R7. 1. 31
松 本 義 也 様	80 歳	名 古 屋 市	R7. 2. 12
山 田 洋 様	79 歳	名 古 屋 市	R7. 2. 13
黒 木 脩 爾 様	92 歳	名 古 屋 市	R7. 2. 20
金 子 宏 様	90 歳	名 古 屋 市	R7. 2. 26
菱 田 泰 治 様	93 歳	名 古 屋 市	R7. 2. 28
杉 浦 亢 様	91 歳	岡 崎 市	R7. 3. 5
長谷川 義 武 様	63 歳	名 古 屋 市	R7. 3. 10
西 崎 恒 男 様	87 歳	名 古 屋 市	R7. 3. 13
杉 田 元太郎 様	78 歳	名 古 屋 市	R7. 3. 18

以上81名

日本医師会生涯教育講座 〈 別表 3 〉

【外科】	
日 時	令和6年8月1日(木) 14:00～16:00
会 場	愛知県医師会仮事務所 3階研修室
共 催	愛知県外科医会
司 会	愛知県外科医会常任理事 河野 弘
座 長	愛知県外科医会副会長 細野 二郎
演 題1	肝疾患の診断と治療 ～内科的立場から～
講 師	名古屋大学医学部附属病院消化器内科助教 伊藤 隆徳
座 長	愛知県外科医会副会長 坂野 哲哉
演 題2	肝疾患の診断と治療 ～外科的立場から～
講 師	名古屋掖済会病院副院長 加藤 祐一郎
参加者22名	

【産婦人科】	
日 時	令和6年8月24日(土) 14:30～17:00
会 場	名古屋サンスカイルームA室
共 催	愛知県産婦人科医会
司 会	愛知県産婦人科医会理事 佐藤 剛
演 題1	②母体保護法の趣旨と適正な運用について
講 師	愛知県産婦人科医会母体保護法関係担当理事 岩田 浩輔
座 長	愛知県産婦人科医会理事 野口 靖之
演 題2	③医学教育学的視点から医療安全を考える
講 師	岐阜大学大学院 医学系研究科医科学専攻 生殖・発育医学講座 産科婦人科学 教授 磯部 真倫
座 長	愛知県産婦人科医会理事 佐藤 剛
演 題3	①遺伝カウンセリングと医療倫理
講 師	岩手医科大学医学部臨床遺伝学科 教授 鈴森 伸宏
参加者118名	

【内 科】	
日 時	令和6年9月7日(土)14:00～16:00
会 場	名古屋市医師会館 6階講堂
共 催	愛知県内科医会
司 会	愛知県内科医会名誉会長 安藤 忠夫
演 題1	膵癌診療の現状と未来
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授 川嶋 啓揮
演 題2	糖尿病の集学的管理～複数の治療目標へのアプローチ～
講 師	医療法人TDE 糖尿病・内分泌内科クリニックTOSAKI 院長 戸崎 貴博
参加者29名	

【耳鼻咽喉科】	
日 時	令和6年10月19日(土)16:00～18:00
会 場	名古屋市医師会館 6階講堂
共 催	愛知県耳鼻咽喉科医会
司 会	愛知県耳鼻咽喉科医会副会長 浅田 貴康
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会副会長 浅田 貴康
演 題1	内視鏡補助下甲状腺手術 Up-to-Date
講 師	旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科講師 大原 賢三
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 星野 通隆
演 題2	上気道アレルギー疾患の病態と対策
講 師	福井大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 准教授 高林 哲司
参加者24名	

【精神科】	
日 時	令和6年10月26日(土)14:00～15:30
会 場	栄ガスビル クイーンルーム
共 催	愛知県精神科医会・愛知県精神科病院協会・愛知精神神経科診療所協会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 村瀬 聡美
演 題	睡眠障害と体内リズム
講 師	藤田医科大学医学部 精神神経科学講座 教授 北島 剛司
参加者6名	

【皮膚科】	
日 時	令和6年10月26日(土)15:00～17:00
会 場	栄ガスビル キングルーム
共 催	愛知県皮膚科医会
司 会	愛知県皮膚科医会 理事 愛知県医師会生涯教育委員会委員 清水 真
演 題1	アトピー性皮膚炎と魚鱗癬の2型炎症を標的とした治療法
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科皮膚科学分野 准教授 武市 拓也
演 題2	日常診療に生かす抗菌薬の使い方と皮膚感染症のABC
講 師	名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科 准教授 加藤 裕史
参加者18名	

【小児科】	
日 時	令和6年12月1日(日)14:30～17:00
会 場	名古屋市医師会館 6階講堂
共 催	愛知県小児科医会
司 会	愛知県小児科医会研修委員会委員 大城 誠
演 題1	予防接種をためらう保護者へどのように寄り添うべきか？
講 師	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院准教授小児科部長 勝田 友博
演 題2	出生前・着床前診断の現状と問題点 ―医療倫理の観点から―
講 師	東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系専攻 遺伝子医学分野教授 山本 俊至
参加者56名	

【眼 科】	
日 時	令和7年2月8日(土)15:00～17:30
会 場	TKP名鉄名古屋駅カンファレンスセンター 9T
共 催	愛知県眼科医会
司 会	愛知県眼科医会理事 杉田 威一郎
演 題1	気になる角膜疾患と最近の角膜移植
講 師	眼科杉田病院副院長 杉田 征一郎
演 題2	視覚機能研究に魅せられて
講 師	三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座 眼科学 教授 近藤 峰生
参加者88名	

愛知県医師会健康教育講座〈別表４〉

回数	開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
※977	4月6日	第10回豊橋市CKD市民公開講座 大切にしよう！あなたの腎臓	豊橋市民病院腎臓内科 副部長兼血液浄化センター長 渡邊 智治 豊橋市民病院薬局 尾崎 将也 成田記念病院管理栄養室 主任 小野澤 雅彦	90
978	5月16日	肩こり その原因と治療方法	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 副部長・整形外科部長 稲田 充	97
※979	5月18日	これだけは知っておきたい「食物アレルギーの 最新情報」	認定特定非営利活動法人アレルギーネットワーク 常務理事 中西 里映子 藤田医科大学 小児科 教授 近藤 康人 豊田地域医療センター アレルギーセンター長 中村 陽一	128
980	5月24日	小児の泌尿器の病気 ～精巣と陰茎の心配に答えます～	名古屋市立大学医学研究科 小児泌尿器科学分野 教授 林 祐太郎	14
981	6月12日	その顔シミ、このアザ、レーザー治療で治しま す！～日本に皮膚レーザーが導入されて30年 の進歩～	西堀形成外科 院長 西堀 公治	78
※982	6月22日	「あなたのお悩み泌尿器科のお医者さんに聞 いてみよう」	国立長寿医療研究センター 摂食嚥下排泄センター 高齢者下部尿路機能研究室/泌尿器外科 酒井 久枝 刈谷豊田総合病院 泌尿器科 成田 知也	59
983	7月3日	知ってほしい骨盤臓器脱の診断と治療	名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター産婦人科 教授 中山 健太郎	76
※984	7月30日	人生会議、始めませんか ～在宅医療から考える最期の過ごし方～	医療法人沿志会へきなん中央クリニック 理事長・院長 神谷 圭亮	80
985	8月27日	排尿の悩み、解決します	藤田医科大学 腎泌尿器外科 教授 佐々木 ひと美	81
986	9月18日	認知症の基礎知識とアルツハイマー病の新しい 薬について	藤田医科大学 認知症高齢診療科 講師 奥村 武則	93
987	10月8日	発達障害ってなに？ ～すべての子どもが過ごしやすい社会を目指 して～	名古屋市立大学大学院医学研究科 こころの発達医学寄附講座 講師 大橋 圭	92
※988	10月19日	認知症予防のために何かできること	桶狭間病院藤田こころケアセンター 精神科医師 関口 裕孝	294
※989	10月26日	明日から実践！転倒予防とロコモ体操 ～これからの活動にとって大切なこと～	セムイ学園 東海医療科学専門学校 理学療法学科 教員・理学療法士 林 尚宜 医療法人青登会 きよし整形外科リハビリクリニック 理学療法士 藤井 洋樹	26
※990	11月6日	避妊のこと、考えてみませんか？ (動画配信のみ)	おばた産婦人科クリニック 院長 小畑 直子	-
991	11月21日	伝わっていますか？届いていますか？緩和ケ ア	公立陶生病院 緩和ケア内科 主任部長 澤田 憲朗	74

回数	開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
992	12月20日	心筋梗塞にならないために	名古屋大学医学部附属病院 循環器内科 教授 室原 豊明	95
993	1月17日	ぶどう膜炎の診断と治療	愛知医科大学病院 眼科 助教 柴田 藍	67
※994	1月26日	みんなで育もう岡崎の救急医療	岡崎市民病院 院長 小林 靖 岡崎市民病院 救急看護認定看護師 白瀬 祐章	39
※995	2月2日	“聞こえなくなる病気”と耳鳴り、補聴器について	藤田医科大学岡崎医療センター 耳鼻いんこう科 准教授 吉岡 哲志	130
※996	2月8日	栄養疫学者が語る「健康長寿のためのぶれない食べ方」	東京大学 名誉教授 佐々木 敏	195
997	2月17日	ふるえやちょこちょこ歩き:年のせいだと思ってませんか?	愛知医科大学病院 パーキンソン病総合治療センター 教授 斎木 英資	88
※998	3月1日	“がん”より怖い“心不全”3つの疑問!? ～何が原因? 予防できるの? 治るの?～	愛知医科大学 循環器内科 教授 天野 哲也	280
999	3月12日	もっと知ろう! あなたと家族の今の「聞こえ」	藤田医科大学ばんだね病院 耳鼻咽喉科 教授 岡野 高之	82

※印は地域開催

難病相談室取扱いケース内容〈別表 5〉

ケース数		神 経	耳 鼻	眼	膠原病	皮 膚	骨・関節	腎 臓	循環器	消化器
	新規ケース	204	25	143	81	34	66	16	22	181
	継続ケース	342	18	70	180	42	56	37	38	132
	計	546	43	213	261	76	122	53	60	313
		呼吸器	内分泌 及び代謝	脳外科	血液	小児	心身	血管外科	その他	合 計
	新規ケース	19	26	6	30	4	21	1	100	979
	継続ケース	6	62	11	24	20	69	2	34	1,143
	計	25	88	17	54	24	90	3	134	2,122

取 扱 い 内 容	アセスメント(重複)	
	疾病の背景要因の発見	106
	治療や療養生活への適応	1,613
	家族との関係や家族の生活	131
	住居等の社会生活	56
	就労支援	166
	医療・生活等の経済面	353
	社会復帰への受入れと適応	239
	医療機関利用	265
	その他	39
	合 計	2,968
	主なケースワーク措置	
	応急的援助	0
	背景調査	3
	相談面接	1,073
	関係調整	899
	制度利用	83
	施設利用	34
	グループワーク	28
	その他	2
	合 計	2,122

新規 ケース 紹介者	医療機関	56
	保健所・保健センター	67
	福祉事務所	7
	その他公的機関	72
	本人又は家族	377
	広報・ポスター等	248
	新聞・ラジオ・テレビ	1
	その他	151
	合 計	979

生命保険団体取扱状況調 〈 別表 6 〉

(令和7年3月末現在)

会 社 名	契約人数	契約件数	月掛保険料
日 本 生 命	人 96	件 139	円 15,570,041
ジ ブ ラ ル タ 生 命	14	22	1,499,596
第 一 生 命	49	90	4,366,953
朝 日 生 命	17	30	1,166,373
明 治 安 田 生 命	41	55	3,004,040
大 樹 生 命	73	98	5,492,285
住 友 生 命	25	32	1,762,965
合 計	315	466	32,862,253

会館会議室等使用状況〈別表 7〉

仮事務所 (4月～3月)	会 場 名			件 数
	2 F	理 事 会 議 室		38
	3 F	医 師 信 役 員 室		35
	3 F	研 修 室		4
	4 F	401 会 議 室		98
	4 F	402 会 議 室		60
	4 F	403 会 議 室		28
	4 F	404 会 議 室		45
	4 F	405 会 議 室		45
	5 F	501 会 議 室		40
	5 F	502 会 議 室		0
	5 F	503 会 議 室		0
	合 計			393

決議

令和六年度診療報酬改定では引き上げ分の大半の使途が限定され、医療従事者の賃上げにあてられた。一方、物価上昇分は考慮されなかった。「ベースアップ評価料」が創設されたが、仕組みが煩雑なうえ規模は不十分であり、継続は保証されていない。他方で医療従事者間、明細書を受け取る患者と医療機関の軋轢が危惧される。改定前に財務省は恣意的調査によってコロナ補助金等で診療所の経営状態が堅調とし、生活習慣病管理の効率化と称して0.25%の引き下げを行った。これは危険を顧みずコロナに対応した医療機関に対する冒涇である。

本年四月から医師の働き方改革が始まり、医師の長時間労働に支えられてきた地域医療への影響が懸念される。一方で管理者の医師も労働時間が長く、診療報酬の低下を労働負荷で補ってきた。

薬事行政では医薬品不足問題に加え、機能性表示食品の安全性を疑う問題が発生し、行き過ぎた規制緩和により国民の健康に危険をもたらしている。

また、あろうことか政府は少子化対策の財源を公的医療保険料に上乗せして捻出している。これは医療保険の負担と給付の原則を無視し、医療保険制度の根幹を揺るがすものである。医療の高度化や地域医療の安定など財源が必要なものは今後も増加する。医療保険はこれらに備え目的外使用を厳に慎むべきものである。

以上より、我々は国民の健康を守るため下記のごとく決議する。

記

- 一、診療報酬改定の影響を検証し、地域医療の充実に十分な原資を確保せよ
- 一、すべての医師が健康で、誇りと希望を持って診療できる働き方改革を実現せよ
- 一、医薬品不足問題を解決し、国民の健康を脅かす経済偏重主義を改めよ
- 一、医療保険制度の本来の意義を再確認し、少子化対策の財源を再考せよ

令和6年6月8日

愛知県医師会第197回(定例)代議員会

令和6年度事業報告書(令和6年4月～令和7年3月)には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益社団法人 愛知県医師会

